

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	札幌市立しらかば台小学校 第3学年 83名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（社会、体育、総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・地域の行事や文化であった『札幌オリンピック』にふれて、札幌の歴史を学ぶ。 ・外で雪を生かしたオリンピックを開くことで、雪に親しみながら、体力を高める。 ・オリンピック選手と関わったり、身近な人からオリンピックに関して当時の様子を聞いたりすることで、オリンピックの心を学び、自分たちのオリンピックを開くための方法を考える。
5 取組内容	○指導計画【20時間扱い】 ・オリンピックに関することと、その当時の様子を資料やインタビューなどから学ぶ。（5時間） ・実際に札幌オリンピックミュージアムや道銀カーリングスタジアムへ行って、体験活動を通して学ぶ。（5時間） ・オリンピックに関すること、パラリンピックに関することを学び、自分たちのオリンピックを開くためにどうするかを考える（2時間） ・外に出て様々な活動を行いながら、体を動かして体力を高め、雪と親しむ（8時間） ○取組の様子 ・札幌オリンピックミュージアムでは、オリンピック選手の話聞き、一緒に体験をして、館内で調べ活動をして、最後に大倉山ジャンプ台に上り、実際にその様子を見ることで、多くのことを学んだ。



	・道銀カーリングスタジアムへ行き、カーリングを体験することで、オリンピックをより身近に感じ興味・関心を高めた。また、競技の楽しさも実感した。 ・オリンピック、パラリンピックについて本やインターネット、インタビューで学び、オリンピックの意義についても考え、自分の生活にも生かすために、オリンピック種目を考えた。 ・外でたくさん体を動かしながら、生き生きと活動に取り組んだ。	
6 主な成果	・子どもは、様々な方の話を聞いたり、体験をしたりすることで、生き生きと学習に取り組むことができた。 ・オリンピックは『平和の祭典』であることを受け、自分たちが開くオリンピックでも、『もっと仲良くするためには』というテーマを設定し、自分たちで工夫して考え、協力して取り組むことができた。	
7 実践において工夫した点	・体験を大事にして、子どもが活動しながら学べるように工夫した。 ・オリンピックに関連して、当時の札幌の様子から、札幌の発展の歴史を学べるように工夫した。 ・人との関わりを大切にし、たくさんの方に話していただけるように工夫した。 ・運動不足になる時期に、子どもが元気よく体を動かし、体力が向上できるように工夫した。	
8 主な課題等	オリンピックミュージアムでは、もっと体験や調べ学習ができる時間があればよかった。時間に余裕をもち、1日日程で計画することも有効である。また、パラリンピックについて触れられていなかったので、パラリンピックについて学べる機会があってもよかった。	
9 今後の取組について	・次年度は総合的な学習の時間において、『福祉』について学習するので、パラリンピックを導入として、様々な学習へとつなげる。 ・また、次年度はオリンピックが行われる年なので、時事学習としての学びを深める。	